

第31回 不動産投資に不振

中国の正月春節も終わり、人々も故郷から戻り、上海はいつものように活気に満ちています。中国のお正月は大晦日に親戚が集まりみんなでぎょうざを作って食べます。そして子供も大人もみんな一緒に中国版赤白歌合戦(春節晚会)を見ながら麻雀やゲームをしながら楽しくワイワイ過ごします。

大晦日の12時から花火、爆竹で街中は大騒ぎになり夜が昼のような明るい光景になり新年を迎えます。我が世の春と経済大国二位の中国ですが、少しづつ足元が危うい現象が見受けられるようになりまし。上海の人々は今後も景気がよくまだまだ不動産が値上がりすると感じてい

す。しかし2014年は中国にとって転換期の年になるかもしれません。上海の2013年実質経済成長率は7.7%。中国全体の経済成長率とほぼ同等水準です。2014年は7.5%の経済成長率を目標としています。長らく2桁成長を続けた中国経済が今後下方修正してソフトランディングするかバブル崩壊の道をたどるので世界経済に大きな影響を与える関心事です。



◆ ◆ ◆  
この中国の状況を受け、中国版不動産買取りヘタカファンドが香港市場上場2ヶ月で公開株価から4割上昇。中国国営ファンド中国信託資産管理の高株価による中国の不良債権発生を投

巨大バブル崩壊間近

資家達は予期しているようです。

日本のバブル崩壊時と同様に中国のバブル崩壊を虎視眈々と狙って一儲けしようという輩も多いようです。中国版ヘタカファンドが国営というところが笑えてしまいます。

はたして歴史は繰り返されるのでしょうか不動産バブルを生み出しているというシャドーバンキング。不動産関連に投資された金額は30兆円(510兆円)とついでにいうようです。2014年中国経済不動産の動向が注目されます。

中国の高齢者マーケット



ゲストハウス社長 松山英樹

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール  
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リポートシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

介護・福祉